

事業所名

放課後等デイサービス クレヨン

支援プログラム

作成日

7 年

2 月

1 日

法人（事業所）理念		住み慣れた地域でいつまでも安心して生活ができるよう、地域福祉の推進につとめます。○人間としての尊厳と社会連携の思想を基本に公平公正な運営を目指します。○ご利用者の基本的人権を尊重し、一人ひとりの能力に応じ日常生活に必要な福祉サービスの提供に努めます。○職員の資質向上を図ると共に一人ひとりが目標をもち質の高いサービスを提供できるように努めます。					
支援方針		子どもを主体とした支援を行い、子どもがいいきとできるような環境、支援を提供します。子どもの成長を保護者と感じ、感動や喜びを共感できるよう支援を提供します。					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	主に健康的な生活を送れることを目的とし、それらのために様々な支援を組み合わせる支援を行う。具体的な支援として、特定の時間を療育活動と設定し、スケジュール通り行動することを学ぶ。バイタルチェックや発作記録、排便排尿チェックを行い日々の健康状態を把握する。おやつ作りや野菜、果物の具体物に触れ、食への関心を持ち好き嫌いを低減しつつ生活を豊かにすることを図る。身の回りの整容を学べるように、片付けや手洗い、歯磨きなどを習慣づけられるよう支援を行う。口腔内機能、感覚等に配慮しながら咀嚼、嚥下、姿勢保持、自助具等に関する支援も行う。					
	運動・感覚	身体の運動機能を強化することによって、日常生活を拡充することを目的として支援を行う。具体的な支援として、公園や山歩き、教具を使用した遊びを通して身体を大きく動かす粗大運動を向上させつつ、工作や調理から微細運動への支援を行う。またいずれの運動機能においても、段階的に身につけられるよう一人ひとりに適したプログラムを策定し支援を行う。					
	認知・行動	対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得を目指し、種々の支援方法を組み合わせる提供する。具体的な支援として集団で外出や活動を行い、外出や集団でのルールや行動を学び、その中から集団で過ごすための情緒の安定を学べるよう、スタッフからの声掛けなどの支援を行う。また成功体験だけでなく失敗体験も積ませることで失敗に対して対応できるより柔軟なこころを身につけられるよう支援を行う。					
	言語 コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上を行い、結果として様々な状況に対応できるようコミュニケーション力を身につけられるよう支援を行う。具体的な支援として他の児童との関りをもてるように活動を時には集団で行い、適切な言葉遣いやコミュニケーションを学べるよう、適宜スタッフの言葉がけを行う。言語だけでは伝わりにくい児童についてはスタッフの声色や表情から読み取りができるようにスキンシップを図り伝えていくこともする。具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、言語の習得、音声、文字、触覚、絵カードなど多様なコミュニケーション手段を活用し、環境の理解と意思の伝達ができるように支援する。					
	人間関係 社会性	遊びを通じて社会性の発達を促し、仲間づくりと集団への参加を目指し支援を行う。具体的な支援として、種々の活動は集団で行い、他の児童とのコミュニケーションを取れるような環境を準備し、その上でスタッフが介入しながら、人間関係の取り方を学べるようにする。また遊びの中にスタッフが適宜介入しながら、適切な人間関係が学べるよう支援を行う。					
家族支援		保護者と日々の生活の困り感を常に話ができるような環境を作り、事業所での様子など情報交換とそれらを踏まえた上で助言・相談を行う。		移行支援		ライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた準備としての支援を行う。	
地域支援・地域連携		将来的に子どもたちが地域で生活する上でより生きやすい社会を作ることを目標とした包括的な支援を行う。そのために医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携、個別のカンファレンスの出席等を適宜行う。		職員の質の向上		必要に応じて公的な外部研修に参加し、それらの内容を事業所内で共有し、併用しながらスタッフの知識と技術の向上を図る。	
主な行事等		季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。誕生会・お楽しみ会 春の遠足、コンサート、B&Gプール（10月まで利用）お月見会、ハロウィンパーティー、クリスマス会、もちつき会、豆まき、ひな祭り会 おつかれさま会を生活介護事業所と合同で行い、年齢関係泣く利用者どうしの関りが持てる機会を用意する					